

一般財団法人日本エスペラント協会(JEI)  
2013年度事業報告

I 事業概況

【0】 基本方針と成果

1. 一般財団法人日本エスペラント協会としての2年目にあたり、活動の一層の充実を図った。団体会員および協議員に対しJEIに対するアンケート調査を行い、貴重な意見、提案を多数いただき、一部につき2014年度の事業計画へ反映させた。
2. 秋に第100回日本エスペラント大会を記念すべき節目の大会として東京で開催し、成功させた。また、本大会を通じてエスペラントの広報を行い、エスペラントについての一般の認識度を上げることに努めた。

【1】 エスペラント普及事業 (担当：普及推進部)

【1. 1】 事業の方針と成果

国内外のエスペラント組織、本会会員との連携を強化し、協働の輪を広げ運動の発展を図った。第100回日本エスペラント大会を成功させ、この機会を外部への広報活動に活かした。

【1. 2】 エスペラント普及推進事業

1. エスペラント運動の現状把握に努めた。
  - (1) 『エスペラント運動年鑑2012』を会誌4月号の号外として公表。『エスペラント運動年鑑2013』に対するアンケートを実施し、2014年度の会誌4月号号外として公表。
  - (2) 募集して集まった『エスペラント会文集』の20原稿を『De Rondo al Rondo -エスペラント会2013文集』として発行し、第100回日本エスペラント大会申込者に事前配付した。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にした。
  - (1) 地方エスペラント大会(7大会)に理事長挨拶を送った。5大会に理事が参加した。
  - (2) 『普及推進部だより』を4月と9月に発行し、運動年鑑に掲載の団体に送付した。
  - (3) JEIに対するアンケートを団体会員と協議員に実施し、40の団体会員および7人の協議員より回答を得た。回答に理事のコメントを付けたまとめを作成し、2014年度の会誌6月号の号外として公表。
3. 会員の拡大・定着：新たに6団体が団体会員となった。広域1、地域4、専門1。
4. 小坂賞：栗田公明氏に決定し、日本大会で表彰した。

【1. 3】 エスペラント広報事業

1. 本会のウェブページに、行事・講習会等の情報を提供した。
2. マスコミ向け広報誌『エスペラント通信』を4月、9月、12月、2014年3月に発行した。
3. 三つ折チラシ：小改定版を5,000部発行。また、改定版「エスペラントを始めてみませんか」を編集し、1万部発行した。会員に無料配布中。
4. 展示会：10月5～6日のグローバルフェスタ(東京都内)に出展した。
5. エスペラント展に使える展示物および2013年に講演・公演した人の情報を運動年鑑資料編に掲載した。第100回日本大会での展示資料は随時貸し出すこととした。

【2】 エスペラントを用いた国際交流事業 (担当：国際部)

【2. 1】 事業の方針と成果

国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会(Universala Esperanto-Asocio = UEA)の日本における国別代表組織として推進し、UEAのアジア運動委員会(Komisiono pri

Azia Esperanto-Movado = KAEM) と協働した。また、日本のエスペ란ティストが行う国際的なエスペラント活動を支援し、外国のエスペ란ティストに日本の各種催事への参加を促した。

## 【2. 2】国際交流事業

1. 国際的なエスペラント大会へ参加し、また協力した。青年層には「青年エスペ란ティスト国際行動支援金」制度の活用を呼びかけた。
  - (1) 第7回アジアエスペラント大会（イスラエル／エルサレム、4月18～22日）に対して、参加グループ旅行を実施した(8人参加)。日本の運動と第100回日本大会について広報した。
  - (2) 第98回世界エスペラント大会（アイスランド／レイキャビック、7月20～27日）に対して、参加旅行団を組織し、36人が参加した。各国の運動フェア（Movada Foiro）に出展し、第100回日本エスペラント大会を宣伝した。UEA委員2人がUEA委員会に出席した。
  - (3) 「青年エスペ란ティスト国際行動支援金」制度を、第1回インドネシアエスペラント大会（4月）、世界エスペラント大会（7月）、第32回東アジア青年エスペラン合宿（KS）（12月）および第1回イランエスペラント大会（2014年3月）の4行事へ各1人ずつ適用した。
  - (4) 第100回日本エスペラント大会への外国人招待事業：KAEM加盟の全11か国へ招待状を送付した。代表参加を決定した7か国中、ビザ不要の韓国以外へビザ取得の支援を行い、代表が大会に参加した。
  - (5) 第1回インドネシアエスペラント大会（4月）、第45回韓国エスペラント大会（10月）および第5回アフリカエスペラント大会（1月、ベナン）に理事長挨拶を送った。
2. 国際文通サービス：10件を仲介した。

## 【3】エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

### 【3. 1】事業の方針と成果

教育部門においては、エスペラント学習者の支援、指導者の育成、教材提供等に、研究部門においては、エスペラント語学の振興に取り組んだ。また、八ヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として運営・活用した。

### 【3. 2】研究教育事業

1. エスペラント集中学習の機会を設けた
  - (1) 第46回エスペラントセミナーオを5月3～5日に福井県南越前町で開催した。41人参加、6クラス。
  - (2) エスペラントの日記念JEI講座（講師：マルクシュ・ガーボル）を6月15日にエスペラント会館で実施した。36人参加。講演録はRO誌9月号に収録。
2. 各種試験
  - (1) エスペラント学力検定試験を5月に福井県と川崎市で、新テストを5月に福井県で実施した。また、両試験を10月に東京都江戸川区で実施、12月に川崎エスペラント会にて3級を実施。
  - (2) KER試験（6月8日）を東京で実施した。5人がC1級（筆記）を受験し、全員合格。
3. 新教材『ドリル式エスペラント入門』：後半部（第2部）を作成した。第1部・第2部合わせた印刷版を9月に発行し、日本大会で発売を開始した。解答集も発行。
4. 日本大会で研究発表会と教養講座を実施し、その予稿集を発行した。
5. 文芸コンクール：日本大会でエスペラント原作作品に対する文芸コンクールを実施し、2編を表彰した。
6. その他：白井裕之を講師とする講演会（2014年2月1日）を実施した。38人参加。

### 【3. 3】ハケ岳エスペラント館における事業

1. 4月13日に開館、11月15日に閉館した。延べ205人が利用。
2. エスペラント漬け合宿：8月24～26日に開催した。16人参加。
3. 秋の文化講座：10月15～17日に開催した。17人参加（内、8人が外国から）。
4. エスペラント関連の展示を更新した。

### 【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

#### 【4. 1】事業の方針と成果

会誌『エスペラント／La Revuo Orienta』（RO誌）を原則として毎月発行し、エスペラントの普及発展に資した。

#### 【4. 2】雑誌刊行事業

1. RO誌を毎月（8月以外）刊行した（電子版、音声版も含めて）。
2. 他部門と連携し、号外を発行した：4月号外（エスペラント運動年鑑2012）、1月号外（第100回日本エスペラント大会報告集）
3. 拡大編集会議を2014年1月11日に実施した。

### 【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

#### 【5. 1】事業の方針と成果

エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行った。また、内外のエスペラント図書の販売を行い、雑誌購読を取次いだ。

#### 【5. 2】図書刊行事業

1. 図書の発行
  - （1）阪直著『作文のためのエスペラント類義語集』の増補再販を行った。
  - （2）福本博次制作の『日本語エスペラント辞典・DVD版』をJEI発行と決め、8月に発行した。
  - （3）日本エスペラント大会記念出版『日本文学エスペラント作品集』“Japana Literatura Juvelaro”については、応募作品を元に同編集委員会が編集し、10月に発行した。
  - （4）ILEI日本支部発行の『発見！エスペラント』の第2刷をJEI発行とし、2014年2月に発行した。
  - （5）藤巻謙一著『エスペラント中級独習』は執筆、編集を終え、印刷中。同書に収録するCDも録音を終え、製作中。2014年4月に発行。
  - （6）阪直著『20のポイントで学ぶ国際語エスペラント』をA5判からB5判に拡大して再版すべく、版を作り直した。2014年4月に発行。

#### 【5. 3】図書頒布事業

1. エスペラント書籍・雑誌の販売、取次ぎを行った。
  - （1）『日本エスペラント運動人名事典』（ひつじ書房刊、後藤斉編集）を支援した。匿名支援者の寄付金を用いて、300冊を年度内限定の特価で販売し、売り切った。

### 【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

#### 【6. 1】事業の方針と成果

2013年の日本エスペラント大会を記念すべき第100回にふさわしい大会とすることに成功した。また、次年度以降の大会を継続して安定的に開催すべく準備・調整、体制の整備を進めた。

## 【6. 2】日本エスペラント大会主催事業

1. 第100回日本エスペラント大会（東京都江戸川区、10月12～15日）
  - （1）都区内エスペラント会連絡会と共催。大会テーマは「人の心をつなぐことばエスペラントー100余年の歩みから未来へ」“Esperanto ligas homajn korojn - de la pli ol 100-jara historio al estonteco”大会参加申込者719人、実参加は531人、海外からの参加者は48人、この内7名が本会のアジア各国からの招待者。
  - （2）今までになかった規模の多彩な公開番組を組み、多くの一般参加があった。入門講座には55人もの参加があった。外国からの招待者及び全国からのエスペランティストも番組充実に貢献した。
  - （3）大会の広報として、エス界内向けに、エス文チラシ（三つ折カラー）、大会案内第1～4報を作成した。外部向けに、公開講演会チラシ、公開番組チラシ、公開コンサートチラシ、大会ポスターなどを作成し、江戸川区を中心に広く配布した。
2. 第101回日本エスペラント大会（福井県小浜市、2014年10月11～13日）：大会テーマは「海を越えて響き合うー食と自然と友好とー」“Ni akordu trans la Maro - manĝo, naturo, amikiĝo”大会案内第1報、第2報を発行した。
3. 第102回日本エスペラント大会（2015年10月）：仙台エスペラント会が招致を決め、業務執行理事会（2014年1月19日）で仙台市での開催を決定した。

## 【7】その他事業及び法人の管理

### 【7. 1】事業の方針と成果

会員の活動支援、本会の事業を円滑に進めるために諸事業を行った。また、規程類の改定を進めた。

### 【7. 2】総務部担当事項

1. 総務部の各種職務を実行した。
2. 6月12日を「エスペラントの日」とすることについて、一般社団法人日本記念日評議会の認定を得た。
3. 関連事業部と協力し、世界エスペラント大会（第98回、アイスランド）への参加旅行団を企画し、無事終了した。アジアエスペラント大会（第7回、イスラエル）へはグループ旅行を無事実行した。
4. 定期的に事務局会議を開き、財務部と共に緊急な課題や懸案事項に対応した。

### 【7. 3】財務部担当事項

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図った。
2. 本会事業の執行を財務面から支えた。
3. 内閣府へ公益目的支出計画実施報告書を提出し、また求めに応じて修正をした。

### 【7. 4】ウェブ管理部担当事項

1. 本会のウェブページにて、情報公開、会員サービスなどを提供した。
2. 「ウィキペディア」に関する啓蒙活動の一環として会誌7・8月号に関連記事を掲載した。

## II 庶務事項

1. 会議の開催
  - （1）評議員会：6月16日
  - （2）理事会：6月2日、2014年3月23日

- (3) 業務執行理事会：9月8日、2014年1月19日
  - (4) 副理事長会：4月26日、7月5日、11月8日、2014年2月21日
  - (5) 監査：5月25日
  - (6) 協議員会：6月2日、2014年1月19日
  - (7) 顧問懇談会：6月16日
  - (8) 会員総会：10月14日、東京都の日本大会会場内
2. 会員：1236人（2013年12月末現在、団体会員61団体を含む）。
3. 役員・職員等の人事
- (1) 評議員：佐々木照央が辞任し、事前に定めた補欠の後藤斉を評議員に選任した（2014年2月）。
  - (2) UEA-A委員：犬丸文雄が任期を終え、新任は斉藤ツメ。柴山純一は留任。
  - (3) KAEM委員：佐々木照央が任期を終え、新任は犬丸文雄。後にKAEM副委員長に就任。
  - (4) UEA主デレギート（地域別代表者の日本代表）：原田英樹が辞任し、ドイヒロカズに委嘱した（2014年1月）。
  - (5) 事務局：事務局次長として福田政則が就任（4月）。職員（図書販売担当）の小金井真理子が辞任（12月）。後任に一時、菊池範子が勤務。さらにその後任として、上農百合子が就任（2014年3月）。
  - (6) 協議員による理事・監事候補具申選挙：2014年2月に告示。選挙は2014年4月。
4. その他
- (1) 2階のテナントが2014年2月末に退出した。空き部屋を改装し、テナント募集を開始した。

(以上)